

城山エコミュージアム通信

平成30年(2018)8.15 第34号



エコミュージアムとは、エコロジー(生態学)とミュージアム(博物館)を合わせた造語で、その地域そのものが、生きた貴重な資料であるという考え方の下に、地域の歴史や文化、自然について学び、地域への愛着を深め、交流を深めていく活動です。相模原市城山エコミュージアムは、地域住民主体の活動により資料収集・調査等を行い、資料を現地において保存し、展示し、広く活用することを目的として活動しています。

地域紹介

城山 水源地区



(完成した城山水源のこみち)

昨年4月旧城山町川尻水源地区に、さがみ縦貫道の城山トンネル上部空間を利用した「城山水源のこみち」が開園しました。緑豊かな散策路を備えた住宅地となった「水源」という地名。明治9年に、当時の川尻村の八木七之助村長らが村地図を作成した際、「地番の起点」としたのがこの地で「相模川沿いの一歩川上に位置する」ことが由来だったようです。

～城山水源のこみち開園～

大正・昭和初期の水源地区には家は一軒もなく、陸稲、小麦、大豆、桑などの作物が栽培されていました。昭和50年には「京王百樹園」が水源の一画に開園しました。



(工事の様子)

取材協力:金子 房吉さん

参考文献:「城山町の地名」神奈川県津久井郡城山町教育委員会
「久保次こぼれ話 八木篤雨著」城山町郷土研究会
「京王電鉄五十周年史」京王電鉄(株)



昭和61年から平成元年、計画的市街化形成を図る目的で「城山町川尻水源土地区画整理事業」が施行されて、区画整理地への住民の転入が始まったが間もなく「さがみ縦貫道ルート」が発表されました。住民は「水源地区整理地区さがみ縦貫道対策協議会」を設立し、土地トラストや建設大臣に対する行政不服審査請求でルート案に反対しましたが、トンネル工事にシールド工法を採用することで解決が図られました。

平成14年より道路工事が開始され、平成26年に相模原愛川～高尾山IC区間が開通しました。その後、「トンネル上部空間利用計画の検討のための座談会」を設置、上部空間利用計画がまとめられました。これに基づき、都市公園「城山水源のこみち」が整備され、住民に平穏な日々が戻りました。区画整理事業から、実に30年の歳月が費やされていました。(佐々木 徹)

今回のトピック

- ◆地区紹介 水源地区
- ◆城山エコミュージアムツアー報告・次回予告
- ◆城山検定
- ◆城山エコミュージアムの集い・総会報告
- ◆しろやまミニ図鑑



津久井湖誕生 ～昔を探して今を歩く～

開催日 平成30年3月17日(土)

今回のツアーは津久井湖誕生と題して、今は湖底に沈んでしまった下中沢、荒川村などの往時の姿を想像しながら城山ダム、津久井湖畔、中沢を歩きました。特に下中沢に住んでいた地元の方の子どもころの話からは、今は見ることができない溪谷美で有名だった津久井溪谷の風景や暮らしに思いをはせました。



(上中沢から城山を望む)

ルートマップ



～コース紹介～

① 津久井湖記念館

城山ダムができる前の写真を見ながら津久井湖を見る。湖底に沈んだ荒川地区や下中沢地区を思い描き相模川の歴史や暮らしなどを想像。

② 城山ダム展望台

かながわ水のネットワークの説明。
遠くに城山発電所(城山湖)が見える。
目前にそびえる城山(津久井城址)の話



③ 中沢新道、大曲の跡

明治33年に完成し、津久井往還としてダムができるまで利用された。バス通り。

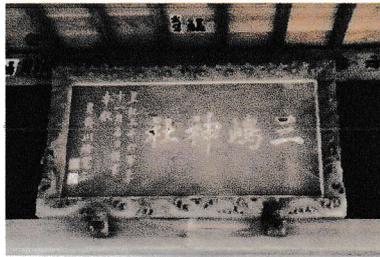


④ 三本松

中沢に残る小字名「仁、義、礼、智、考、忠、信」の説明版

⑤ 三嶋神社

中沢尋常小学校跡地、川崎男爵奉獻扁額、
奉納額（法楽）、蚕影神社（養蚕の神様）の説明



(男爵の名がある扁額)

男爵家の別荘があった事、法楽の話などへエーが沢山！（参加者）

・八木さん、笹本さんの湖底に沈んだ地区の話はとても興味深かった。
・子ども時代の思い出、首長囃子等の話は懐かしさも感じる素敵な話でした。
(参加者のことば)

⑥ 石造物群

「南無阿弥陀仏碑、百万遍供養塔、西国四国供養塔」など。

⑦ 柳川長吉の墓

津久井に祭囃子を伝えた長吉の囃子は首長囃子といわれ、水没した荒川地区の人々が移転した二本松などに継承されている。



⑧ 湖底に沈んだ荒川橋に至る道

下中沢に住んでいて現在も中沢に住む地元の方に、昔の暮らしや思い出を聞いた。



Information

平成30年度城山エコミュージアムツアー

テーマ：

参加者募集！

小松城 伝説の里を歩く

内容：中世の山城・小松城跡と小松地区を中心に里山、谷戸を歩き、地元の方の話を聞きます。

開催日：10月6日（土）9：00～15：30

* 荒天の場合は10月13日（土）に延期

集合及び解散場所：城山公民館

参加費：500円 土産付き（当日集金）

定員：30名

申し込み：城山公民館 042-783-8194

活動レポート



平成30年度

城山エコミュージアム総会

開催日：平成30年4月22日（日）

城山総合事務所第2別館において、平成30年度城山エコミュージアム委員会総会を開催しました。はじめに公民館長から新体制の紹介があり、続いて昨年度の活動結果報告が各担当からありました。その内容をもとに30年度について検討し、全体活動、各部会等の基本的な活動計画が決定しました。（金子 直美）



知ってナットク！
しろやま



問題

*城山水源のこみちの標識について
城山水源のこみちと住宅の境界のフェンスに数字の描かれた標識があります。この数字は何を表わしているのでしょうか



- ① 標高
- ② 道路の起点からの距離
- ③ 公園の入り口からの距離
- ④ 公園の登録番号

(出題者 佐々木 徹)



城山エコミュージアムのつどい のろし ～狼煙をあげろ～



2月25日(日)城山公民館において城山エコミュージアムのつどいを開催しました。エコミュージアムの活動紹介と、東京家政学院大学学芸員課程館外実習ガイドについて発表しました。その後、串川狼煙衆・郷土史家の守屋浩之氏から「～狼煙をあげろ～津久井城アラカルト」というテーマで講演をいただきました。

津久井城の話もさることながら、狼煙の説明や実際にあげることの苦労話はいへん興味深いものでした。質疑応答・懇談会では活発に質問や意見交換がなされ、出席された皆さんと充実した時間を持つことができました。(金子 直美)

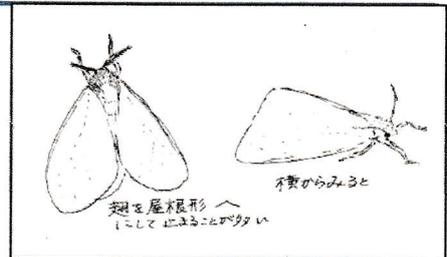


正解は②です。

標識の所有者である NEXCO 中日本 (株) によると、これは圏央道の距離標 (キロポスト) で、数字は道路の起点である茅ヶ崎ジャンクションからの距離を表しているそうです。



キアシドクガ



今年の5月中旬から下旬にかけて、木の上をひらひらと飛ぶ白い昆虫が大量発生しました。気がつかれた方も多いかと思います。

「モンシロチョウがたくさん木の上を飛んでいる」と見えますが、実はキアシドクガというガの仲間です。名前の通りドクガの仲間ですが、毒はありません。脚が黄色いためキアシドクガといいます。止まっている姿を見ると屋根型にはねを広げており、モンシロチョウとは違うことは明らかです。飛んでいる姿は真っ白なので見間違えてしまいます。

幼虫はミズキやクマノミズキなどの葉を食べます。春にミズキの葉が開いたはずなのにキアシドクガに食べられて、葉がなくなり丸坊主になってしまったものや、再度、春のように芽を出すものも見られました。

大発生が続いて、ミズキが弱ってしまうと枯れてしまうこともあります。キアシドクガにとっても食樹がなくなったり、天敵が増えたり、病気が発生したりして、自然と大発生は終息するようです。

1種類の生き物が多く観察されるのは、薄気味悪いですね。多くの種類の生き物がお互い影響しバランスをとって生き続ける環境でありたいものです。(山口 雅之)



今年は梅雨も6月中にあけるとい季節めぐりが早い年となりました。暑い夏が続いていますが、いかがお過ごしですか。エコミュージアム通信は年に2回の刊行となり、お伝えしたい内容がたくさんあり、どれを選ぶか大変でした。このなかに興味の沸く話題がありましたら幸いです。

(山口 雅之)

企画/作成:

相模原市立城山公民館城山エコミュージアム委員会

発行: 相模原市立城山公民館

TEL: 042-783-8194 【直通】
FAX: 042-783-1721

ホームページをパソコンで見るとは

相模原市 城山エコミュージアム

検索



相模原市立城山公民館ホームページ <http://www.sagami-hara-kng.ed.jp/kouminkan/shiroyama-k/index.html>